

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-	
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・空き店舗での出店計画が2、3店あり、やや動きが出てきている。	
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・6月前半は非常に厳しい状態であったが、早期ギフトの受注会とクリアランスの成績が良かった。	
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が増えており、客単価も昨年に近づいている。	
		スーパー（店長）	販売量の動き	・父の日の商材がよく動いた。	
		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・客数は増加しているものの単価が落ちる傾向にあったが、先月以降に改善の兆しが見え、売上額が確保できている。	
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・牛肉が前年の85%まで回復したため、生鮮部門は増加している。しかし、添加物の問題以来、加工食品が前年割れになっている。	
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・中・高級婦人服と貴金属、高級時計が売れだし、量は多くないが、金額が高い商品が動き出している。	
		家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・サッカーワールドカップの影響でテレビ関係がよく売れている。また、健康志向でマイナスイオン発生ドライヤーやエアコンなどの製品が売れているほか、IHクッキングヒーターやDVDも好調である。	
		通信会社（業務担当）	競争相手の様子	・大手家電量販店がオープンしたことにより、激しい販売合戦が起こっているなか、当店ではむしろパソコンの需要ニーズが高まり、問い合わせ、売上共に増えている。	
		観光名所（職員）	来客数の動き	・来場者数が昨年に比べ6%ほど増え、売上金額も昨年実績の4%増になっている。	
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・同業者の設計事務所において、企画や計画など設計の依頼が増えている。	
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・土地を買った客の建築依頼件数が増えている。土地から買う客が少しずつ増えている。	
		変わらない	商店街（代表者）	単価の動き	・消費者は購買意欲が少しはあるようだが、単価が上がっていない。
			商店街（組合職員）	それ以外	・チラシの折込み数が以前に比べて減少しており、サイズも縮小し、内容もシビアになっている。
			一般小売店〔青果〕（店長）	お客様の様子	・今月は野菜、果物共に豊作で、単価安であり、安い商品が売れているため、売上は変わっていない。
			一般小売店〔茶〕（店長）	販売量の動き	・特殊な商品は良く売れるが、その他の商品はあまり売れないという二極化が進んでいる。
			百貨店（売場主任）	競争相手の様子	・近辺のライバル大型店が閉鎖したままで、今月は商店街の専門店の閉店が4～5件発生している。厳しい状況は変わっていない。
			百貨店（売場主任）	単価の動き	・クリアランスセールの前倒しなどで、客単価が下がっている。
			百貨店（総務担当）	販売量の動き	・店舗を移転し、来客数は増加しているものの、客単価、購買率共に低下している。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・客が金額に対してシビアになっている。また、クレジットの金利負担率が変わったために、売上が大幅に減少している。	
		百貨店（営業担当）	それ以外	・紳士、カジュアル衣料などの動きがいまひとつ盛り上がり欠け、客の節約意識が依然として存在している。	
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・夏物クリアランスが売上、来客数ともに順調である。	
		百貨店（売場担当）	単価の動き	・来客数は購買単価、購買客単価ともに前年を下回っているが、購買率は先月に引き続き前年比増となっている。	
		百貨店（業務担当）	お客様の様子	・来客数は特に変化していないが、購買数や買い回りが減少しており、客の購買に対する慎重さは変わっていない。	
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数、客単価、買上点数がほぼ一定になってきている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	単価の動き	・乗客数は前年の89%で推移しているが、客単価になると昨年の102%で推移しており、売上は昨年の100%並みとなっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・衣料品や食料品等は先月に引き続き伸びているが、家電関係、特にエアコンや冷蔵庫等の季節商品が極端に落ち込んでいる。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・買上客数は前年を上回っているが、客単価が前年を下回っており、売上は前年を若干上回る程度である。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新たなファーストフード商品を導入するなど、客のニーズに合わせた売場作りを行っているが、来客数、客単価共に上がっておらず、厳しい状況が続いている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・客単価はややアップしているが、来客数は前年割れである。特に深夜の時間帯で来客数が激減している。また、サッカーワールドカップに伴い客数が増えると予想されたが、反対に減少している。
		コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・弁当、パンともに3か月前に比べて横ばいである。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・空梅雨の影響で夏物衣料が動くと思っただが、梅雨寒で依然売行きは不振である。冷夏が来ることを心配している。
		衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・現在、夏のセールが始まったため、単価が2～3割ダウンしている。例年に比べると下見の客が非常に多く、実際にセールになってからも必要なものしか買わないという客がほとんどである。まとめ買いをする客が少なくなっている。
		衣料品専門店（商品担当）	お客様の様子	・生活必需品は値段によっては買われるが、アパレル衣料品は買い控えの傾向にある。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・受注件数が前年並でなかなか黒字にならず、ボーナスや給料に響き出している。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ランチバイキング等の客数が変わっていない。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・サッカーワールドカップが大分で開催されたが、外国のサポーターはフードショップや缶ジュース等を求める人が多く、売上には直接結びつかなかった。
		スナック（店長）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響で来客数が少なくなっており、月末の支払いが難しくなっている。
		都市型ホテル（副支配人）	単価の動き	・客の予約数は多少増えているが、客単価は逆に減っている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・客の数が全体的に少なく、家に帰る時間が早くなっている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・ブロードバンド系の商品の販売が横ばいの状態である。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・宿泊は横ばいだが、ゴルフ場に関しては、雨が多く、晴れても暑過ぎる日が多かったため伸び悩んでいる。アミューズメント施設も今一步というところだ。
		美容室（店長）	お客様の様子	・仕事がある店とない店の差が大きく、ない店は賃金カットされてもやむを得ない状態にある。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・分譲住宅の販売センターの来客数が今年度に入って横ばいであり、見込客数が少ない。
		住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・来客数は3か月前に比べて半減しているが、契約者数は横ばいである。
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	単価の動き	・色々な催事を行なっても、単価の高い商品があまり売れていない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップがあったため、特に日中の試合の場合は、その時間帯には買物客が全く来っていない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・老舗店が撤退したり、金融機関の支店が撤退するなどで、来客数がさらに減少している。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	来客数の動き	・客単価も下がっているが、来客数が少ないことが一番頭の痛いところである。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・土日の来客数が減少している。おそらく学校も土曜日が休みになったため、家族連れで郊外へ行っている人が多いだろう。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・単品買いが多く、まとめ買いをする人がかなり少なくなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・サッカーワールドカップの試合のある日は、始まる前は客が多いが、いざ始まると客足が途絶え、結局その日の売上全体の数字は通常より悪いという結果になっている。	
		衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・バーゲンに対する問い合わせが減っている。	
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・サッカーワールドカップの影響で、旅行需要そのものが低迷し、前年同月比マイナス10ポイントの売上ダウンである。	
		タクシー運転手	来客数の動き	・今まで定期的に利用していた客が全く利用しなくなっており、1時間に1～2本という走りで困っている。	
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月はサッカーワールドカップ一色で、試合の放送が始まると、街や店の中は客が減る状態であった。	
		タクシー運転手	お客様の様子	・週初めは人が昼も夜も少なく、多いのは週末、金曜、土曜のみである。そのため、一週間を通すと客が減っている。	
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・依然として、リストラされた人達の就職先が決まっておらず、職業訓練等に行っているようだが、それでも再就職できないという状況が大変多く見受けられる。	
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・底打ち感はあるが、建設投資についての意気込みはそこまで感じていない。	
		悪くなっている	スーパー（店長）	来客数の動き	・当店はサッカーワールドカップの試合会場のすぐ近くにある。交通規制はしていないのに、ほとんどの客が交通規制をやっていると勘違いし、来客数が激減している。
			乗用車販売店（経営者）	競争相手の様子	・同業者及びオークションの相場等を見ても非常に悪い状況にある。
			その他専門店【書籍】（店長）	来客数の動き	・今月はサッカーワールドカップのために客の引きが早く、来店客も少なくなっており、大きなマイナス要因になっている。
			高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップが大分で開催されたが、我々の店にはかなり悪い影響が出た。当店だけでなく、周りの飲み屋街全体がそうであった。
			高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・サッカーワールドカップのテレビ中継があるせいかどうかは分からないが、夜の繁華街の人通りが大幅に減少しており、料亭組合員の方の話を聞いても、特に高い単価の客の来店がほとんどない状態にある。
			高級レストラン（専務）	来客数の動き	・サッカーワールドカップの影響もあり、来客がさっぱり減った。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き		・サッカーワールドカップの影響で、客は家でテレビを見るため店には全く出てきていない。サッカー不況である。		
スナック（経営者）	来客数の動き		・サッカーワールドカップを自宅で観戦する客が多かったようで、売上が営業を始めてから最悪の売上になっている。		
競輪場（職員）	来客数の動き		・6月はサッカーワールドカップがあったためか、競輪・競艇などの公営競技については来客数が激減しているうえ、ボーナス前ということで発売単価も減少している。		
美容室（経営者）	販売量の動き		・サッカーワールドカップの影響で景気が沸いている企業もあるようだが、当業界のような末端までは届いていない。		
企業動向関連	良くなっている				
	やや良くなっている	精密機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先からの新規案件が増えており、受注量も若干増えてきている。	
	変わらない	一般機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格が下落しており、中国の脅威にいつも堪え忍んでいる。厳しい状況は変わっていない。	
		建設業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・公共工事の落札価格が以前に比べて非常に厳しくなり、また、民間工事にもその傾向が見受けられ、競合してやっと受注に結びついている状態である。	
	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格の単価が下がっている。見積価格で4000万円位の物件の場合、その1割を切らなければ受注できない状況である。		

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	やや悪くなっている	建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注額は上向いているが、価格競争が激しく、利益確保ができない状態である。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・半導体のみは良い状態が続いており、夏物衣料品、食料品、その他工業品はあまり動いていない。
		農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・スーパー関連の消費が特に伸びておらず、居酒屋関連の業務筋もあまり伸びず、売上の伸びは厳しい状況にある。
		金属製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・当社の状況や業界をみても、販売量が減少しており、価格も低下している。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体の大手メーカーが全国的に一服状態を呈しており、中だるみの様相が出てきている。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・6月前半は非常に悪く、仕事が少なくて休みをいれたりしていた。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・サッカーワールドカップの影響で、気分的には明るい話題が多かったが、取引先ではかなりマイナスの影響が出ている。
	悪くなっている	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・農産物の生産者価格は年初来、最安値となっている。
		繊維工業（営業）	取引先の様子	・取引先では、工場だけでなく問屋の倒産も増えている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量も落ち込んでいるが、価格競争も激しくなっている。また、商社の倒産で、一段と受注が厳しくなっている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・修繕の受注がほとんどない。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・荷動きが少ないうえ、取引先が自己破産してしまったため、入庫が少なくなり、事務職も現場職もほぼ定時に帰っている。
		不動産業（従業員）	取引先の様子	・業績の回復めどが立っていない取引先がみられる。
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・顧客の中には、あまりにも受注がなく、販売力が低下したため、支払い能力がなくなり、借金を返せなくなる状態に陥り、民事再生法を申請せざるを得ないところがある。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・半導体の製造関係の求人が多少復活している。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・人材派遣の注文数は依然少なく、受注単価も低下傾向にある。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者は前年比増の傾向がずっと続いており、新規求人は若干上向きになってきているが、中味をよくみると、パートや業務請負派遣等の求人の伸びであり、正社員の求人がなかなか出てこない。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・5月の求職者の動きをみると、新規求職者が前月より減少したものの、前年同月比では5.7%増となっている。特に、雇用保険受給者が前年同月比14.5%も増加しており、小規模零細企業の経営悪化が続いているものと思われる。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・昨年と同じ時期に比べると、求人数の動きが3割ほど落ち込んでいる。理由の1つとして、ベンチャー企業の採用見通しが暗くなったことがあげられる。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求人数は減少傾向にあるが、一方で有効求職者数は増加傾向にあり、有効求人倍率は2か月連続で低下している。
	悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・この時期は例年、中元商戦を見込んだ食品製造の求人が活発になり、ここ数年はアウトソーシング企業の求人が活発であったが、今年は求人数が減少している。アウトソーシング業界では、企業間競争が激化している。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	周辺企業の様子	・企業によっては、ベテランの社員を解雇し、給料の安い新人のみを正社員として採用している状況にある。